

# ひらおか

平岡地区町内会連合会

清田区平岡7条3丁目9-25 平岡まちづくりセンター内 TEL 883-7100 発行責任者：鎌倉 功 編集責任者：竹下 敏雄



## 町連会長のひとり言

「どうなる、ふれあい祭り」

平岡地区町内会連合会  
会長 鎌倉 功

①昨年からの役員と、新しい「ふれあい祭り」について子供も大人もお年寄りも、みんなが楽しめ中身の濃い祭りを3人どころか6人も額を寄せ合い議論、議論。ようやく大筋が見えてきました。会館内のフラダンス、江差追分等に始まり、外では子供の仮装パレード、テーブル・椅子席の食堂街、勿論冷えたビールもあります。そして、メインは奥様お目当ての秋の味覚の大放し。(現在道新ながさ販売店と合同開催に向け調整中。)更に大抽選会等アイデア続々、後は理事会と総会での承認をいただくこと。読者の皆様ぜひ応援してくださいね。(ダンス等は変更有り。)

②今年の札幌といえばオリンピック、オリンピックといえばマラソン。そして競歩。東京都には悪いけどありがとう。立派な大会にするよう道民あげて頑張ります。私も少し若ければ、選手・補欠無理か、それでは立派な観客になるか。料金はタダ。町連から弁当出ないのかな。(会長は誰だ。)でも、町連に少しのお手伝いの要請があるかもしれません。その時は皆様よろしくをお願いします。

この後、札幌市は30年冬季オリンピックの開催について世論調査をする予定です。2、3年後開催決定となれば地下鉄延伸が実現するのかな。

③今年の冬どうなるの?2月1日なのに暖冬・少雪。70年と少し生かされているが、10年後どうなっているの?学者の言う通りこれが温暖化と言うことであれば、喜ぶべきか・悲しむべきか悩んでしまいます。

鮭が捕れず鯛やブリが捕れ、カキやミカンが採れる。雪が無く、本道の豊かな水も不足する。スキーはロシアにツアー、ニセコでは林立する外国資本のホテルは倶知安町の人々にタダ同様に乱売。毛ガニは捕れず上海ガニだらけ、「オラ、中国人でない、日本人」やっぱり毛ガニの捕れる、雪のある北海道がいい。スウェーデンの環境少女、グレッタさん頑張れ。以上

## 今号のトピックス



- 一面～新年交礼会の模様紹介
- 二面～①平岡中学校紹介  
②SDGsを知ろう (NO2)
- 三面～①平岡中央中学校紹介  
②女性部から
- 四面～①平岡地域歴史探訪  
②平岡消防団の紹介

## 平岡地区町内会連合会 新年交礼会大盛況のうちに!

令和2年11月11日(土)平岡町連の新年交礼会が平岡まちづくりセンターで130名の会員出席のもと盛大に開催されました。初めに、鎌倉会長が挨拶。昨年のクマ出沒のエピソードを紹介。次に市内にある断層にかかる震度6以上の危険について説明、清田区は十分な地震対策を訴えた。

続いて来賓を代表して、お二人よりご祝辞を頂きました。(以下大要)

○参議院議員 岩本剛人様挨拶  
平岡町連の顧問でもあり、皆さまのお役に立てよう地域に貢献したい。特に地下鉄の延伸は清田区民の願いであり、ぜひ応援したい。又災害対策等、札幌市民・道民のために頑張りたい。

○清田区長 小角武嗣様挨拶  
里塚地区も地盤の問題がほぼ目途が立った。他の地区も現在工法等について協議中で清田区は大体目途が立った状態である旨報告。

○祝宴は「市立平岡中央中学校」青木英樹校長様のご発声で開宴。ご自身最後の赴任地である平岡地域に対する思いや地域の子供達に対する愛情と地域住民への感謝を込めて祝杯の音頭をとって頂きました。

○大抽選会裏話～会長、所長が半年かけてへそくった各種頒布品(ラップ・ビスコ・軍手・災害時用水袋)等、あるだけ役員2名と袋詰。更に二人の役員が賞品代予算で選んだオリーブオイル・昆布等一見高そうな品物を混ぜて56人分を用意。抽選で米5Kが6人に当たり皆大喜びで大興奮。更に会長が1時間待たされ「きのとや」で試食用に買った有精卵を、全員にお土産として進呈。(これは大ヒットか!有り難う!の声が多数でした)



岩本参議院議員挨拶



小角区長挨拶



大抽選会

皆さん、有精卵で元気発弾、今年も地域、町内会のために頑張りましたよ!

○令和元年度より町内会長になられた方をご紹介します。  
平岡地区町内会連合会新理事(単町の新任町内会長です)

平岡東町内会	田中 義徳	平岡雪割草町内会	植田 芳和
平岡ミサワ町内会	佐藤 佑一	平岡三条団地自治会	米田 和夫
平岡しんたく自治会	佐川 了	平岡南団地自治会	穴戸 茂
平岡第一自治会	丹羽 則行	アリアパーク平岡町内会	渡辺 真人
平岡小学校前町内会	盛田 昌彦		

ご存知ですか  
平岡町連ホームページを開設!

パソコンとスマホでご覧になれます。  
アドレスは次の通り。  
<http://hiraoka.kiyotamin.net/wp/>  
スマホはQRコードから手軽にご覧できます。



清田区に地下鉄を!警察を!郵便局を!  
清田区民一人一人の熱意と声が  
みんなの行動力が市政を動かします!

## 明治の 平岡は山鼻屯田兵の 開拓期 広大な給付地だった!

明治の開拓期、平岡地区は広大な屯田兵の土地でした。ちょっと驚きですね。

明治の北海道開拓期に、札幌には琴似、山鼻、新琴似、篠路の4屯田兵村が置かれました。当初、屯田兵に給付された耕地は面積が少なかったため、新たに屯田兵1戸に15000坪の給付地が給付されるようになりました。山鼻の屯田兵村付近には、広大な適地がなかったため当時、月寒村厚別(あしりべつ)という地名だった現在の清田区に広大な土地が求められたようです。

この辺の事情を調べて明らかにしたのが元清田小学校長で郷土史研究家の了寛紀明さん(清田区里塚)です。了寛さんによると、現在の平岡、平岡公園、平岡公園東、里塚緑が丘、厚別区上野幌にまたがる広大な土地が明治27年(1894年)、山鼻屯田兵の給付地になりました。それ以前は陸軍御用地だったところ。山鼻屯田は明治9年(1876年)、240戸が今の山鼻小学校付近に入植しました。

平岡地区の山鼻屯田給付地は、面積が140万4000坪。縦横2キロ余の正方形の土地でした。正方形の西境が、今の真駒内御料札幌線(厚別滝野公園通)で、中央バス平岡営業所付近から厚別競技場付近まででありました。御料線のこの区間が現在、一直線の道路になっているのは、山鼻屯田給付地の区画の名残です。

山鼻屯田給付地の位置は図に示した通りです。平岡地区は今も碁盤の目のような整然とした街並みになっていますが、これは屯田兵給付地の各戸の区割りの名残です。

この山鼻屯田給付地は、山鼻兵村から遠隔地にあったため、実際に屯田兵が開墾することはありませんでした。近隣の農家に小作をさせて、小作料を収入にしていたようです。この給付地は明治39年以降、小作人らに売却されていきました。



図:緑の枠線内が山鼻屯田給付地。現在の地図に落とすと、ご覧のような範囲になる。左の境が御料線道路。右下に平岡公園。真ん中の太い黒線は道央自動車道(図:了寛紀明氏)



## 「突然の災害・郷土住民を護ろう!消防団員として」

清田消防団平岡分団  
分団長 石田 透

平岡地区に居住の皆様、清田消防団平岡分団です。日頃のご理解ご協力に感謝申し上げます。

消防団は常備消防署の指導・協力を受け火災、災害、人命救助等の出動や火災予防の啓蒙活動を行なっている非常勤の地方公務員です。

清田消防団は、1本部4分団(平岡・北野・里塚・清田分団)109名(定員130名)の団員で編成されています。

消防団員は、郷土を守りボランティア精神に基づき地域の安心安全を護る地域住民の分団員で活動しています。

消防団活動は、時には危険を伴う事もあり厳格な規律と秩序のもと行われ、その労に報いる為、国や札幌市からさまざまな処遇策も講じられています。

消防活動の主な行動として、災害時には火災消火活動・地震救護活動・風水害水防活動又平常時には、火災予防活動・警備警戒活動・教育訓練活動・救命講習、指導・機械器具点検等々の諸活動の訓練を行ない地域住民の生命・財産を守る迅速な行動が実施できるよう団員一丸となって取り組んでいます。

平岡分団員の在籍数は、18歳から74歳の男女・学生・主婦の24名で活動しています。

毎年春を迎えるこの季節は、分団には大きな悩みがあります。今年の4月団員の転勤又学生の就職等の退団予定で団員不足が生じ、新団員の加入が急務になっています。

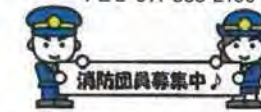
平岡地区にお住いの皆様、平岡消防団の現状をご理解いただき是非「消防団」に入団して頂きます様よろしくご協力をお願い申し上げます。

住み良い郷土の平岡住民の為に共に活動致しましょう。

入団をお考えいただける方は、下記何かか迄ご一報いただければお伺いし細部についてご説明させていただきます。

## 「平岡消防団」

連絡先  
・清田消防団平岡分団分団長 石田 透  
携帯TEL 090-3396-5417  
・札幌市清田消防団(清田消防団予防係)  
TEL 011-883-2100



◎広報「ひらおか」に原稿応募・情報提供でクオカード又は図書券をゲットしよう!

## 広報「ひらおか」原稿募集しています!

- 一、応募期間～常時募集。発行は年2回を予定～次回は11月頃を予定。
- 一、応募締め切りは発行月の2カ月前まで(今回は8月末)
- 一、応募資格～「平岡地区町連」に居住する皆さま(特に主婦・中高の学生・大学生の方歓迎)。
- 一、応募内容～概ね600字以内程度(写真可)USB・SDカードでの応募歓迎。
  - ・町内会行事の楽しかった事や地域のボランティア活動等。
  - ・地域内の小・中・高の学校での地域活動や日常生活での活動報告。
  - ・各町内会の皆さんに知ってほしい事、役立ててほしい事柄等。
  - ・その他
- 一、連絡先～平岡地区町内会連合会(平岡まちづくりセンター内) TEL 883-7100

### ◎注意事項

- ※応募原稿の内容を審査し、採用の方に、クオカード又は図書券いずれかを進呈します。
- ※応募原稿、写真は返却しません。
- ※紙面の都合上、掲載されない場合があります。
- ※掲載に当たっては原稿を添削することがあります。

## 編集後記

紙面作成時、様々な地域社会や世界の諸テーマに目を向ける事が多い。新型コロナウイルスの感染が世界的に広がる他、気候変動もたらす異常気象による世界の自然災害が多く報道されている。身近に災害が起きなければ我がものとして考える事は難しいのか。

札幌市の今季の積雪量が少なく、除排雪など、地域に悲喜交々の結果をもたらしている。未来に残す遺産として、今一人一人が自然との共生の中で人類の生き方や地球環境とどのように向き合っていくかが問われている「時」を強く感じました。  
広報部長 竹下 敏雄



「拓げ大きな可能性」  
～地域と共に～

札幌市立平岡中学校  
校長 小池 千秋

昭和60年3月に、札幌市内74番目の中学校として開校して以来35年間、平岡地区の皆様には、常に本校生徒を温かく見守っていただくとともに、本校教育活動へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。昨年は「平成」から「令和」へと節目の年となりましたが、本校の教育活動は「挨拶と歌声」を大切に変わることなく、地域とともに歩んでいます。

①ボランティア清掃

例年、春と秋の2回にわたり、校区内のボランティア清掃を行っています。今年も生徒会の呼びかけに、多くの生徒が参加して真剣に清掃活動を行いました。



①ボランティア清掃



②平岡地区防災訓練

②平岡地区防災訓練

10月5日(土)に平岡地区会館で行われました。清田消防署の協力のもとで行われ、昨年9月の胆振東部地震の教訓を忘れることなく、保健の授業で習った救命講習や三角巾を用いた救急法について改めて学ぶことができました。



③平岡地区 SOS ネットワーク検索研修会



④スベラズボトル活動

③平岡地区SOSネットワーク検索研修会

同じく平岡地区会館にて10月19日(土)に行われ、生徒は研修を通して認知症への理解を深めることができ、徘徊への対応についても地域の方々と一緒に考える機会となりました。

④スベラズボトル活動

冬季間の凍結した道路や横断歩道などの危険から歩行者を守る取組として、1・2年生全員で砂を詰めたペットボトルを作成し、活用してもらうよう区役所などに贈りました。

今年8月の「平岡キッズまつり」に、生徒は参加することはできませんでしたが、警察署や町内会と各学校が児童生徒の見守りに関して情報交流して夏休みに合同パトロールを行う平岡地区事故防止合同対策協議会や学校に隣接する洋菓子店「レクラン・ドゥルコルテ」のパティシエ松本さんを招いてイチゴショートや生キャラメルを作ったサタデースクールも行われました。平岡地区福祉のまち推進センターが主催して本校で月一度開催される「子育てサロンプラムちゃんるーむ」も続いています。また、隣の里塚中央地区でしたが、9月に行われた「復興を願う集い」では、スクールバンド部が早期復興の思いを込めて「ふるさと」などを演奏しました。

開校時には苗木だった洋楡(マロニエ)の街路樹も、いまでは真夏に青々と茂る立派な大木となり、登下校の生徒の姿を見守っています。大きな可能性をもつ中学生という苗木、そして、地域とともに歩む平岡中学校の教育活動を、洋楡とともにこれからも見守っていただければと思います。よろしくお願いたします。

# きぼうあふれる

# 平岡の大地から



「大きな節目」

札幌市立平岡中央中学校  
校長 青木 英樹

平岡地区の皆様には日頃より本校生徒を温かく見守っていただき、また本校の教育活動を支えていただき誠にありがとうございます。お陰様で本校は長い間、落ち着いた環境の中で教育活動を進めることができ、生徒達は伸び伸びと毎日を過ごしているところです。これもひとえにご家庭、地域の皆様のお力によることと重ねて感謝申し上げます。

本校は多くの教育活動の中でも、特に「挨拶」と「合唱」を生徒、教職員ともに常に意識し、本校の伝統として位置づけ取り組んでまいりました。この2つを重視する理由については、毎日の生活の中で交わされる挨拶によって良好な人間関係を築き上げ、仲間とともに深めた心の絆を合唱という形で表していこうという意味がこめられています。毎年秋に行われる合唱コンクールでは、各学級とも1か月以上前から練習に取り組み、どの学級も素晴らしい歌声を本番で披露してくれており、学校評価アンケートにおいても保護者の皆様から高い評価を頂いているところです。長い時間をかけて先輩が築き上げてくれたこの伝統を今後も守り続け、さらに発展していけるように努力を続けていきたいと思っています。



昨年4月1日、平成に続く新しい元号が発表され「令和」という新しい時代を迎えることになりました。この新しい元号の漢字二文字には二つの思いが込められているとのことでした。一つ目は「人々が美しく心を寄せ合う中で、この国に素晴らしい文化が生まれ育つように」という思い。そしてもう一つは「厳しい冬の寒さに耐え、春に見事な花を咲かせるあの梅のように、ひとりひとりがそれぞれの花を大きく咲かせることができるように」との願いがこめられているということです。

偶然ではありますが、この説明にある二つの言葉「心よせあう」と「梅の花」は本校に大きくかかわるものがあります。本校の教育目標は「心よせあい 豊かな未来を志す人間を育てる」。また、本校の近隣には1200本以上の梅の木が植えられている道内有数の梅林公園、「平岡公園」があり、生徒達は小学生の頃から何度も訪れた場所になっています。

本校は今年度、開校28年目を迎えました。今年度入学した生徒が最高学年の3年生になる令和3年度には開校30周年という大きな節目を迎えます。「平成」最後の新入生であり、「令和」最初の1年生となった新しい時代の生徒達を中心となって、心を寄せ合い見事な文化を創り上げ、梅の木のように試練を乗り越えて大きな花を咲かせ、本校の新しい時代を創り上げていくものと期待しています。地域の皆様におかれましても本校への変わらぬご支援をお願いいたします。今後は現在の落ち着いた環境に油断することなく、生徒のために常に前を見据えて地道に教育活動を積み重ねてまいります。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



15年後の世界を動かしているのは、  
今、子どものみなさんです！

「2030年までの世界の共通目標」と聞くと、みなさん、自分とはあまり関係のないことだと思うのではないのでしょうか？でも、想像してみてください。2030年、社会の第一線にいるのは、今の子どもたちです。その2030年、世界はどうなっているのでしょうか？

地球はひとつしかありません。その地球には、課題が山積みです。地球のことは、地球に住むすべての人(先進国や開発途上国、大人も子どもも)が、一緒に考えて、今すぐ課題に取り組んでいかなければ解決しません。

わたしたちが地球ですずと暮らしていけるように、国連や企業や有識者たちが知恵を寄せ合ってきたSDGs「持続可能な開発目標」。

「エアコンを使わずに」「車を使わずに」「食べ物を粗末にしない」。みなさんがもう気をつけていることだって、実は「持続可能な開発目標」に関係しています。ひとりひとりにできること、学校・団体でできること、大きい会社だからできること……。小さい行動だって、集まったら大きな力。

自分たちができることをはじめましょう。

※SDGs (エス・ディー・ジーズ)  
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略

## 「まちの灯りinみどりーむ」



平岡樹芸センター(愛称:みどりーむ)で1月25日(土)、ボランティアグループ「環境サポーターズ三次郎の会」と、樹芸センター指定管理者の札幌市公園緑化協会の主催で、今年も雪とあかりのイベント「まちの灯りinみどりーむ」が行われました。スノーキャンドルづくりには、子供たちも参加。今年も雪の滑り台が登場し、子供たちが何度も滑り降りていたり、また、雪玉の当たる雪中ゲームを用意、子供たちの人気となっています。夕方になってあたりが暗くなると、スノーキャンドルやアイスキャンドルの灯りが増して、幻想的な風景が広がりました。会場では、あったかいココアやお茶のサービスがあり、来場者が冷えた体を温めていました。

## 新入学の季節に子供達へ

平岡地区町内会の皆様には、日頃より町連女性部及び単町女性部の活動に対しまして深いご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。女性部は地域活動の他、清田区女性部連絡協議会事業にも参加、又交通安全母の会でも「交通安全は家庭から」をスローガンに活動しております。

春夏秋冬の交通安全街頭啓発や夏休み合同パトロール、高齢者交通安全街頭啓発(年金支給日)、イオン平岡店・東光ストア・平岡郵便局に総勢22名の女性部が参加。3月には新入学児童へ干支のキーホルダー(反射材使用)・ティッシュや文具のプレゼント(写真)し、4月にお祝い品として地域内の小学校4校(平岡小・平岡中央小・平岡南小・朝鮮初級学校)へ贈呈しています。(写真)



更に4月には、通学路・交差点での交通安全指導をして、日頃から下校時の声かけなど皆さんにお願いしています。

交通安全にご協力を！  
地域の子どもの安心安全は、地域の皆で見守って行きたいと思っておりますので、今後とも皆様のご協力を直しくお願いいたします。

平岡地区町連女性部



交通安全にご協力を！